

式辞

雪の多い冬でありましたが、日差しの中に確実に春の到来が感じられるそんな季節となって参りました。周囲の山々も、いよいよ精気に満ちた装いになろうとするそんなよき日に、日頃お世話になっている同窓会、PTA、学校評議員、振興会等、多くのご来賓の皆様にもご臨席いただき、長野県長野高等学校卒業証書授与式を開催できる運びとなりましたこと、喜びに堪えません。

ただいま、全日制272名、定時制4名の生徒の皆さんに卒業証書を授与いたしました。本日お見えになっていらっしゃる保護者の皆様におかれましては、この3年間というわずかな時間に見違えるように成長したお子様の姿を、大切な家族の記憶として心にとどめようとなさっていることと思います。

この思い出深い学び舎を旅立つみなさんに、お話ししたいことがあります。

イギリスは歴史的な伝統や文化を大切にしながらも、個人主義や自由を尊重する社会ですが、隣国のアイルランドと、支配と独立を巡る複雑な歴史を辿ってきました。

12世紀に始まったイギリスによるアイルランド島の植民地支配は、やがてプロテスタントのイギリスと、カトリックのアイルランドという宗教的な対立の様相を呈していきます。長い抵抗の歴史の後にアイルランド島の大部分は、アイルランド自由国としてイギリスから1921年に独立を果たしますが、島の北部にある6州だけが北アイルランドと名付けられ、イギリスの統治下に残りました。北アイルランドでは、イギリスとの連合を支持するプロテスタントの人々と、アイルランド島の完全な統一を望むカトリックの人々の対立が、激しい分断をもたらしました。

長野県と同じくらいの面積の土地に150万の人々が住んでいて、ほぼ半分がプロテスタント、ほぼ半分がカトリックであり、互いに差別し、憎しみあっている。状況は悲惨を極めました。特に1960年代から武装組織によるテロが頻繁し、一般市民を含む3,500人が命を失ったと言われています。

このような何百年も続く絶望的な分断を埋め合わせ、限りなく隔たりゆく軋轢を止めるものは一体何でしょうか。

この暗黒の時代に、当時としては珍しくプロテスタントの父とカトリックの母をもつベティ・ウィリアムズという女性がいました。家の近くで過激派組織と警察の銃撃戦が発生し、その結果、暴走した車が3人の子どもを死亡させる惨事を彼女は目撃します。この事件に衝撃を受けた彼女は、一軒一軒の家を訪問して非暴力を願う署名を集め、わずか2日間で6,000筆以上を集めます。過激派組織の報復の恐れがあるにもかかわらず、地域のテレビ番組にも出演し、すべての北アイルランドの女性に「暴力をなくそう」と呼びかけました。彼女の勇気ある行動に共感した女性たちは、カトリック、プロテスタントの別なく立ち上がり、数日後には、首都ベルファストで、テロを恐れぬ10万人もの人々による、いわゆる「平和への大行進」が実現しました。

これ以来、和平への機運は高まり、ついに 1998 年、ベルファスト合意にたどり着きます。この画期的な合意により北アイルランドの住民は、アイルランドの国籍でも、イギリスの国籍でも、望むのであれば両方の国籍を取得することも可能になりました。この合意以降、今も両者の関係を改善するための努力が続いています。ベティ・ウィリアムズはノーベル平和賞を受賞しました。

今、世界を見渡すと、激しいイデオロギーの衝突や、過去に生じた深い相克の元に多くの人々が苦しんでいます。人間の歴史は分断と対立の連鎖であり、しかもその多くは意図的な政策によるものでした。しかし、私たちは共感することの大切さ、表層的な情報に惑わされ、むやみに恐れてはいけないということも学んできた。そして、たとえ何百年の確執であろうと、どんなにでたらめに互いの人権を蹂躪した過去であろうとそれを修正し、全く相いれないと思われた相手であっても、互いに共存する道を見出す能力が、人間には確かにあるということをも北アイルランドの人々は私たちに教えてくれた。

卒業生みなさん。皆さんの輝かしい未来の内にも、全く違った価値観や一人ではどうにもならない大きな力が行く手に立ちほだかるかもしれない。しかしその時は、ここにいる仲間と手を取り、世界の人々と協働し、人間の連帯の力にこそ信をおいて、勇気をもって前進してください。

皆さんが共有する 3 年間の、切磋琢磨と友愛の日々の思い出は、未来永劫ここにいる一人一人を互いに結び付ける頼もしい力となって、いつまでもしなやかにあなたがたの可能性に満ちた行く末を導いてくれるでしょう

最後に 皆さんの卒業を心から祝福している保護者の皆様、同窓会の皆様、学校評議員の皆様ほか本校の教育活動に日頃から深いご理解とご協力をたまわっている皆様に、再び篤く御礼を申し上げ、式辞といたします。

令和 7 年 3 月 1 日

長野県長野高等学校長 廣田 昌彦